



華鬘(けまん)
花言葉…助力・喜びなど

湿ったところに生える。花びらが互い違いになっているのがおもしろい。「華鬘(けまん)」とは、仏殿の垂れ下がった造花状の飾りのことで、花鳥や天女像をあしらったものが多い。この花はどうやらその華鬘と似ているところから名づけられたらしい。

花のお便り

2013.4 No.82

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp

http : //www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

桜の開花が思いのほか早く、例年気象庁の職員が、靖国神社の標準木を観察する報道番組が見られたものでした。

ところが今年は開花予想もはずれ、開花を待ちわびる独特の感覚はありませんでした。円安・株高とこちらもいっせいに咲いたように見えますが、満開には疑問符がつきそうです。株高の演出も海外マネーが中心。円安による値上げが始まり国民生活を圧迫、一部でボーナスは微増したがベアは上がりません。任期途中で桜散るはこまります。

ポケットフォルダー印刷大好評

見積書・プレゼン資料・会社案内などを差し込み提案する場合に最適。用途は工夫次第で様々な活用法があります。デザインも含め加工いたします。



宣伝を考える ポスター編1

宣伝を考える場合、チラシ・パンフレット・DM・ポスターなどの活用は欠かせない。その中でもポスターは重要なカテゴリーといえる。不特定多数の人の目に付きやすく効果が期待でき、しかも予算の面からも比較的少額で済むのはうれしい。もっと様々な機会にポスターを使用してもらいたい。ポスターを会社や商店に毎月内容を替えて貼り出すのはどうか。しかも誰が見ても楽しくなったり、つい寄りたくなるような内容だったら面白い。毎月作成するのは大変だが社内外で様々な効果が期待できると考える。ポスターを貼る代表的な場所といえば、電車の中吊りや駅構内となる。料金は高額だが、場所によってはリーズナブルな場所も多い。当社の塀にポスター掲示の依頼に訪ねてくるが、多分アルバイトだと思うがこの様な方法もある。

ポスターの内容に移るが、チラシとポスターが同内容というのを時折見かけるが、それぞれ利用方法が違うのであまり推奨はできない。ポスターは離れた場所からも内容が確認できたり、歩いている人にも訴えかける内容が大切になる。それには、キャッチコピーで引きつけ、ビジュアルで補完することが大切だ。

気まぐれエッセー

活版印刷屋さん見つかる

昭和40年代までは全盛だった活版印刷が、50年代から衰退の一途を辿った。みやざき印刷も昭和56年にはオフセット印刷へと転換。その後オフセット印刷は現在のデジタル化へと発展し、目覚ましい成長を遂げた。その陰で活版印刷は潰れたかに見えたが、急速なデジタル化が活版印刷を蘇らせた。

昨年末、当社が和紙用紙での印刷などを依頼していた活版印刷屋さんが廃業。様々な繋がりでも活版印刷屋さんを探したが、そのほとんどが廃業に近い状況だった。何軒目かで、同じ世田谷の露木印刷さんを紹介され、すぐる思いで連絡すると心よく快諾。早速何うと、昔懐かしい

インキや機械油が入り混じった独特の臭い、予想もしなかった大きな機械と、名刺やカードを印刷する機械など、三台が所狭しと並んでいる。年齢は私と変わらない気さくなご主人と、元気で良く気が付く奥さんという、昭和の時代を醸し出す印刷屋さんだった。

口コミで伝わるらしく、遠方からも依頼があるという。訪ねた時は厚紙の表紙に刷り込みの印刷をしていた。昔懐かしい機械音などを聞きながら、奥さんから頂いたお茶を飲み一時間、後ろ髪を引かれる思いで露木印刷を後にした。後継者がいないというが、未長く継続してもらいたい。